

# T C F D を巡る 企業と投資家の 対話のあり方

～気候リスク及び機会に応じた企業戦略とその開示の観点から～

2019.12.20 **金** 14:00～17:00  
(13:30開場)

- 会場：東京証券取引所2F「東証ホール」  
東京都中央区日本橋兜町2-1 (<https://www.jpx.co.jp/corporate/about-jpx/access/>)
- 参加費：無料 ● 定員：250名（先着順）

- プログラム ※講演内容や登壇者は変更になることがあります。  
※基調講演3とパネルディスカッションの間に、10分間の休憩を挟みます。

- 14:00 - 14:05 開会挨拶 株式会社日本取引所グループ
- 14:05 - 14:30 基調講演1「気候変動がもたらす物理的影響について最新の議論」  
原澤 英夫 元国立環境研究所理事
- 14:30 - 14:45 基調講演2「気候リスクと機会を巡る金融分野における議論の進展」  
池田 賢志 金融庁 チーフ・サステナブルファイナンス・オフィサー
- 14:45 - 15:15 基調講演3「気候変動に対応する非連続のイノベーションと『両利きの経営』」  
入山 章栄 早稲田大学大学院 早稲田大学ビジネススクール 教授
- 15:25 - 17:00 パネルディスカッション「気候リスク及び機会に応じた企業戦略とその開示  
～企業と投資家の建設的な対話のために」

- |         |        |  |
|---------|--------|--|
| モデレーター  | 入山 章栄  | 早稲田大学大学院 早稲田大学ビジネススクール 教授                        |
| パネリスト   | 手塚 宏之  | JFEスチール(株) 専門主監 (Fellow)<br>兼 技術企画部 地球環境グループリーダー |
|         | 野村 隆治  | キリンホールディングス 執行役員 CSV戦略部 部長                       |
|         | 三浦 仁美  | 積水化学工業株式会社 ESG経営推進部 担当部長                         |
|         | 松本 千賀子 | EY Japan 気候変動・サステナビリティサービス<br>アソシエートパートナー        |
|         | 井口 譲二  | ニッセイアセットマネジメント<br>チーフ・コーポレート・ガバナンス・オフィサー         |
| コメンテーター | 原澤 英夫  | 元国立環境研究所理事                                       |
|         | 池田 賢志  | 金融庁 チーフ・サステナブルファイナンス・オフィサー                       |

日本におけるTCFD（Task Force on Climate-related Financial Disclosure）賛同数は、本年5月の「TCFDコンソーシアム」設立を契機に大幅に増加し、世界全体でTCFDに賛同する800機関余りのうち日本が200機関程度で最大となっています。

他方、TCFDに賛同表明を行った日本の企業の間でも、中長期的な企業価値の向上の観点から、①気候リスク及び機会をどのように把握・評価していくか、②それをいかに企業戦略に組み込んでいくか、更に、③それらを具体的にどのように企業情報として開示していくかについては、依然として様々に模索がなされている状況です。

また、その際には、とりわけ、①気候変動がもたらす物理的影響や気候変動対応のための移行（トランジション）は様々な不確実性を伴うものであり、かつ、②気候変動問題の解決にはビジネス主導の非連続のイノベーションが不可欠であるとされていることに留意が必要となります。

こうした認識に立ち、「TCFDコンソーシアム」では、企業によるシナリオ分析の取組などを含め、そのような実務上の課題に対し指針を与えるべく、「グリーン投資ガイダンス」の策定や「TCFDガイダンス」の改訂などの作業を精力的に進めているところです。

本シンポジウムでは、こうした背景・経緯の下で、TCFD提言に基づく開示に取り組もうとする日本の企業や金融機関をサポートするため、気候変動に関する有識者、企業戦略に関する有識者等を招き、中長期的な企業価値の向上を目指した企業と投資家の建設的な対話を促進するため、気候リスク及び機会への戦略的対応とその開示をいかに行うべきかについて議論を深め、企業関係者が実務上の具体的な示唆を得ることを目指します。

## 登壇者プロフィール（敬称略）



### 原澤 英夫

元国立環境研究所理事

1954年群馬県生まれ。78年東京大学都市工学修士修了、工学博士。国立公害研究所入所。2001年より国立環境研究所環境システム研究領域長、13年より理事（2019年3月まで）。専門は環境工学（温暖化の影響評価、IPCCTAR, AR4など）。



### 入山 章栄

早稲田大学大学院 早稲田大学ビジネススクール 教授

慶應義塾大学経済学部卒業、同大学院経済学研究科修士課程修了。三菱総合研究所で、主に自動車メーカー・国内外政府機関への調査・コンサルティング業務に従事した後、2008年に米ピッツバーグ大学経営大学院よりPh.D.を取得。同年より米ニューヨーク州立大学バッファロー校ビジネススクール助教授。2013年より早稲田大学大学院 早稲田大学ビジネススクール准教授。2019年より現職。



### 手塚 宏之 JFEスチール（株）

専門主監（Fellow）

兼 技術企画部 地球環境グループリーダー

東京大学工学部物理工学科卒、MITスローン経営大学院MBA。81年日本鋼管（現JFEスチール）入社。07年から気候変動・環境エネルギー問題を担当。経団連環境安全委員会国際環境戦略WG座長、日本鉄鋼連盟エネルギー技術委員長、国連「緑の気候基金（GCF）」民間諮問委員、TCFDコンソーシアム情報開示WG座長。



### 野村 隆治 キリンホールディングス

執行役員 CSV戦略部 部長

1963年生まれ。名古屋大学院工学研究科 卒業。1988年キリンビール株式会社入社。神戸工場副工場長、本社生産部主幹を歴任し2015年麒麟啤酒（珠海）有限公司 总经理。2018年03月より現職。



### 三浦 仁美 積水化学工業株式会社

ESG経営推進部 担当部長

1995年積水化学工業㈱入社。入社以来、耐火・断熱材料等の材料開発に従事。6年前に環境経営を推進する組織に異動し、4月より現職。現在、環境から間口を広げ、企業および社会と地球のサステナビリティ推進の中長期方向性を検討中。



### 松本 千賀子 EY Japan

気候変動・サステナビリティサービス  
アソシエートパートナー

気候変動対応やESGを企業経営に統合する業務を中心に担当。EY入社前は、世界銀行と米州開発銀行において、国際開発金融とサステナビリティ分野で約20年の経験を持つ。一橋大学国際公共政策大学院にて講師、東京大学グローバルリーダー養成プログラムの産官学アフィリエート委員会委員。米国CFA協会認定証券アナリスト。ハーバードケネディスクール大学院修士。



### 井口 譲二 ニッセイアセットマネジメント

チーフ・コーポレート・ガバナンス・オフィサー

金融・素材などのアナリスト業務、投資調査室長を経て、2012年より現職。その他、金融庁「金融審議会専門委員」/「企業会計審議会監査部会臨時委員」、企業会計基準委員会専門委員（企業結合・ディスクロージャー）などを歴任。



### 池田 賢志 金融庁

チーフ・サステナブルファイナンス・オフィサー

2019年3月、金融庁に「チーフ・サステナブルファイナンス・オフィサー」のポストが新設されたことに伴い同職に就任。同職においては、気候変動関連の財務情報開示に係るTCFD提言の日本における実施を担当すると同時に、金融庁内のSDGs取組戦略プロジェクトチームの事務局を務めるなど、サステナブルファイナンスに関する職務を幅広く所掌。

## 注意事項

- 参加を希望される方は、必ず所定の方法で事前にお申し込みをお願いいたします（TCFDコンソーシアム会員等、対象の方にご案内を差し上げております）。先着順となり、定員に達し次第、募集を締め切りますので、ご了承ください。
- 当日は、建物西口よりご入館ください。入館の際には、申込後に送付される入館票を必ずご持参ください。
- メディアの取材は歓迎いたしますが、事前のご連絡をお願いいたします。